

## 令和3年第9回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和3年9月28日(火)  
午後1時30分から午後3時40分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄  
教育長職務代理者 吉 川 明 彦  
委 員 橋 本 秀 樹  
委 員 宮 崎 英 子

欠席者 委 員 後 藤 邦 江

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	金 子 等	次長兼教育総務課長	内 藤 光 重
社会教育課長	奥 富 悟	スポーツ振興課長	奥 富 喜 和
学校教育部長	伊 藤 秀 一	次長兼教育指導課長	田 中 義 久
教育センター所長	稲 葉 正	書 記	神 田 崇 広

会議の公開・非公開 公 開

傍聴者数 0名

報告事項

- ・令和3年第3回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)  
(学校教育部長)

(要旨)

会期は、9月1日(水)から9月30日(木)までの30日間の予定であり、議案は、専決処分3件、人事案件2件、新規条例1件、廃止条例1件、一部改正条例4件、規約変更1件、補正予算4件、財産の取得1件、字の区域の変更1件、決算認定6件、剰余金処分2件の合計26件である。また、請願2件が提出され、うち1件は教育委員会に関係するもので、委員会での審査では趣旨採択となり、30日に本会議で採決される旨報告がなされた。

また、緊急質問が行われ、大沢えみ子議員から、子どもの感染拡大が指摘される中での新学期の対応について質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

一般質問については13名の通告があり、うち教育委員会関係は5名であった。笹本英輔議員からは感染症対策及び校則について、大沢えみ子議員からは生理

の社会化について、三浦和也議員からは小・中学校のプールについて、千葉良秋議員からは少子化の現状と結婚について、福田正議員からは小中学生通学路の安全点検について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

委員からの質疑等では、各家庭のWi-Fiの接続状況はとの質疑に、学校により差があるので、今後、ルーター等の貸出しも考えている旨の答弁がなされた。生徒との意見交換から解決した課題のうち、通学時の負担を減らすため、持ち帰らなければならない教材や教具を緩和したとのことだが、他に副教材の重さを調整するなどの具体案はあるのかとの質疑に、通学時の負担軽減については現在進行形の課題であり、副教材については、教科や扱う内容によって重さに差があるが、今後、学校で選定する際には、ご指摘の点も含め検討するよう働きかける旨の答弁がなされた。委員からは、保護者や自治会の方等との会議が開催できない状況にあるが、児童・生徒の状況が得られる貴重な機会でもあり、是非開催できるような方策を検討してほしい旨の要望がなされた。

・第67回狭山市成人式について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い延期とした第67回成人式を令和3年11月23日（火・祝）に市民会館大ホールにおいて開催する。感染防止対策として式典を3部に分け、時間を短縮するとともに、出席者のソーシャルディスタンス等を確保するための誘導路の設置などを考えている旨の報告がなされた。

・令和3年度博物館夏期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

本企画展は、博物館開館30周年記念特別企画として「恐竜展一歯から見る恐竜展一」をテーマに開催したもので、当初9月5日までの会期を予定していたが、緊急事態宣言発出に伴う対応として8月31日をもって終了し、9月1日からは臨時休館とした。入館者数は19,309人であり、来館者アンケートでは、「とても良い」「良い」が回答の9割と好評であった旨の報告がなされた。

・狭山市立武道館周辺道路整備工事の概要について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

本工事の契約期間は、契約日から令和4年3月31日までであり、実際の工事は10月中下旬からを予定している旨の報告がなされた。

・令和3年度埼玉県学力・学習状況調査の概要と主な結果について

報告者（教育指導課長）

(要旨)

今年度は、中学校1年生の国語と数学、中学校2年生の数学、中学校3年生の数学と英語について、埼玉県 averages を上回ったが、学力のレベルについては、中学校2年生の数学が1段階上回った。令和2年度からの同集団における学力の伸びと前年度からの学力の伸びの結果を見ると、小学校5年生の国語、中学校1年生の数学、中学校2年生の数学の伸びが埼玉県の平均を上回った。市全体での伸びが、埼玉県の平均を下回った教科がなかったことから、これまでの各学校の取組が成果を見せていると捉えているが、学校間で伸びに差があることが今後の課題と捉えている。また、小学校6年生の算数、中学校1年生の国語と数学、中学校2年生の数学について、学力を伸ばした児童生徒の割合が高い学校が多かった。特に、中学校2年生の数学については、埼玉県の平均を下回った学校はなかった。また、学校ごとの分析を進めていくが、自校の課題を職員で共有するとともに、どのような取組が児童生徒の学力の伸びにつながったのかということについて詳細な分析を行い、成果を共有し他教科への指導にも活かしたり、学力を伸ばした学校の取組等を市内で共有したりしながら、今後の学習に反映できるように検証を進めていく。児童生徒対象質問紙調査の「規律ある態度」の結果を見ると、80%の数値目標に対し、ほとんどの項目で埼玉県平均と同等又は埼玉県平均を上回る結果となっている。数値目標を達成していない「あいさつ」「話を聞き発表をする」の項目については、コロナ禍の学校生活で大きな声であいさつすることや対話的授業が減少していることも原因の一つと捉えており、児童生徒が活動に自信をもつことができるような支援も必要であると考えている。本市の児童生徒の学力の伸びを見ると、全体の傾向として、学力レベルの低位層の児童生徒が少ないことから、学力の底上げは図られているが、上位層の児童生徒が、埼玉県の平均分布より少ないことから、中上位層の児童生徒の伸びが少ないと考えている。中上位層への積極的な支援が今後はさらに必要になると考えている旨の報告がなされた。

委員からは、教育は点数を取ることでばかりではないが、平均正答率で埼玉県の平均を下回ることがないように今後も努めてほしい旨の意見がなされた。

・令和3年度全国学力・学習状況調査の概要と主な結果について

報告者（教育指導課長）

(要旨)

平均正答率については、小学校6年生の算数、中学校3年生の数学が埼玉県の平均と同じになった。国語と全国平均との比較では、その差が小さくなってきていることから、学力向上の取組の成果が表れてきているものと捉えている。平均無解答率については、埼玉県・全国と比較してもまだ高い傾向が読み取れる。諦めず最後まで問題に取り組む姿勢など、いわゆる非認知能力の向上が課題と捉えている。質問紙調査の結果を見ると、本市の児童生徒の特徴は、算数・数学・英語の学習や意欲について、埼玉県や全国の平均よりも高い傾向が見られる。その反面、小学校の国語の学習に関する意欲は平均よりも低く、中学校での国語の学習への意欲は平均よりも高いことから、小学校での国語の学習へ

の意欲づけが今後の課題となっている。また、家庭での携帯電話やスマートホンの活用状況やゲームの時間は、平均より多く、家庭学習の時間は平均より少ないという結果から、家庭学習の推進に関する取組を課題として捉えている旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査に関して、質問に対する回答の数値目標は80%以上かとの質疑に、埼玉県調査では三つの達成目標で80%以上を目指しているが、全国調査では特に目標値はなく、高い方がよいので今後も向上を図りたい旨の答弁がなされた。委員からは、質問内容によっては100%を目指すべきものもあると思うので、80%ぐらいでもよいものとの兼ね合いについて共通理解を図った方が、各学校での取組が具体化しやすいのではとの意見がなされた。

・令和3年度スクールカウンセラー活動状況等について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

スクールカウンセラーは、小学校15校には4名配置し、平均1か月に1回程度学校を訪問。中学校8校には7名配置し、平均1週間に1回程度学校を訪問することになっており、親や不登校児童生徒との面談を実施している。4月から7月までの相談実件数は、小学校94件、中学校130件であり、昨年度の同時期に比べ多くなっているが、昨年度は4月・5月に臨時休校期間があり、その間相談がなく、件数が少なかったことによるものと考えている。相談件数中、いじめに関するものは小中学校とも0件、不登校に関するものは中学校で34件、小学校で24件となっている旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、不登校に関する相談は、昨年度よりかなり増えており、深刻なものも多いので、今後も真摯に対応する必要があると思うがとの質疑に、不登校は大きな課題と捉えており、県費によるスクールカウンセラーのほか、各中学校にはさやまっ子相談員やさやまっ子相談支援員等を配置し、また、教育センター内に相談部やスクールソーシャルワーカー、学校課題解決支援員等を配置するとともに、今年度より、学校生活充実支援委員会を立ち上げ対応を検討するなど、多方面で対応することとしている旨の答弁がなされた。

・令和3年度『小学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」』実施概要について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

学校の学習指導を補完することを目的に、小学4年生の算数の学習に課題を有する児童及び希望者を対象として、月曜日の放課後、外部講師による45分間の講義形式で実施するものである。7月から実施しており年間20回を予定している。当初の登録者数は157名となっている旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、参加児童数について、学校によりばらつきがあるがその理由はとの質疑に、募集期間が実施間際になってしまったことも一因と考

えており、来年度は事前に人数を把握し、参加者数が増えるよう努める旨の答弁がなされた。途中からの参加は可能かとの質疑に、1 教室 15 人程度としているが、希望があれば途中からの参加も可能である旨の答弁がなされた。委員からは、募集について、必要に応じて担任からの声かけもすることとなっており、担任は児童のことよく分かっているの、漏れのないように追加募集等の対応をしてほしい旨の要望がなされた。

- ・令和3年度『中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」』夏季集中講義の結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

市内8中学校の全学年を対象に夏季休業中の6日間、英語・数学・国語の3教科について実施した。延べ1,789名の参加があり、事前・事後のテストの結果を見ると、事後に出題した事前との共通問題については、正答率が80%近くとなっており、学習の成果が確実に上がっているものと考えている旨の答弁がなされた。

委員からの質疑等では、3年生英語の事後テストの平均点数が事前テストよりも10点近く下がっているが、その原因として、事前テストの約7割が平易な適語選択問題であり、事後テストでは半数を記述式に改めたことを挙げている。生徒に学習の成果を実感し、学習意欲を持ってもらうことが大切であり、事後テストの結果がよくなるよう問題形式に工夫が必要と思うがとの質疑に、ご指摘のとおりであり、来年度の募集に当たっては、今回の成果や生徒のコメントなどを掲載するなどの工夫を行う旨の答弁がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

スポーツ振興課関係1件の申請があり、審査の結果、使用許可を行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の9月30日までの延長に伴い、大会開催までの準備が不十分となることから中止となった旨の報告がなされた。

## 議 案

議案第38号 令和4年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び令和4年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項について

埼玉県教育委員会から、令和4年度当初教職員人事異動の方針が示されたことから、令和4年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び令和4年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項を定めるため、提案がなされたもの

である。

委員からの質疑等では、「小中学校 9 年間を一貫した教育の推進を図るために、小・中学校間の異動に努める」とあるが現状はどの質疑に、養護教諭と事務職員の例はあるが、教員はほとんどない。今後、小学校に理科などの専科が入ってくると小・中学校間の異動は増えてくるものと考えている旨の答弁がなされた。小中学校両方の免許を持っていないと異動はできないのかとの質疑に、管理職については、免許の有無に関わらず異動は可能になっている旨の答弁がなされた。

議案第 38 号については、原案可決した。

#### 議案第 39 号 第 3 次狭山市教育振興基本計画について

教育基本法(平成 18 年 12 月 22 日法律第 120 号)第 17 条第 2 項の規定に基づき、第 3 次狭山市教育振興基本計画を定めるため、提案がなされたものである。

議案第 39 号については、原案可決した。

以 上